

作業部会の活動計画において、各部会にほぼ共通な点は、本年7月1日を締切りとして各部会ごとに Country statement を作成、そのあと部会ごとに独自の会合を開催して検討を加え、12月下旬の総会にてそれぞれ最終報告書を提出することである。

Labor Force 部会で提案されている Hauser の労働力の新アプローチを各国の field survey で検討することが審議された。Urbanization については、「人口移動・都市化」部会のメンバーと Professors Hauser, Lee, Stephey が参加して subcommittee を再編成することが総会で決定された。

(黒田俊夫記)

## エカフェ主催 社会開発の人口側面に関する地域セミナー

エカフェ主催の標記のセミナー (Regional Seminar on Population Aspects of Social Development) が1972年1月11日から20日に至る10日間、バンコクで開催され、筆者(岡崎)は討論者の1人としてこれに参加する機会をえた。このセミナーは1972年11月に東京で開催予定の第2回アジア人口会議 (Second Asian Population Conference) に基礎材料を準備する目的で計画されたセミナーの一つで、これに先立ち、1971年1月に「人口と人的資源問題の関係に関するセミナー」(Interrelation between Population and Manpower Problems) および同年8月に「農村および都市人口増加のエコロジカルな意義に関するセミナー」(Ecological Implications of Rural and Urban Population Growth) が開催されている。

今回のセミナーの目的は、エカフェ地域におけるよりいっそう均衡のとれた開発計画の推進、住民の中からもり上がりつつある要望に対する国の対応を援助する点にある。そのために、人口学的要因と社会的要因(教育、健康、栄養、社会福祉および社会保障、婦人の地位、住宅、人的資源その他)の相互関係を逐一検討し、各国のもつ情報と経験、とくに人口傾向、社会変動計画立案に必要なデータの交換の機会が提供されたものである。

出席者は、エカフェ所属の17か国から25名の参加者を中心に、オーストラリア、ホンコン、インド、日本、シンガポールおよびアメリカ合衆国から11名の専門家がコンサルタント、討論者として参加したほか、国連関係機関から専門家および代表者が参加した。

討論材料として、エカフェ事務局が準備したバックグラウンド・ペーパー1編 (Population Aspects of Social Development) と13編の専門別ペーパーが配布された。その他、各国の参加者による発表 (Country statement) が行なわれた。

日程としては、事務総長 (Mr. U. Nyun) による開会の辞ののち、次のとおり役員が選出された。

- 議長 Mrs. Felisa R. Baretto (フィリピン)  
副議長 Mr. Vong Tang Seng (クメール共和国)  
Mr. K. D. Gangrade (インド)  
書記 Miss Dorothy Z. Fernandez (マレーシア)

原則として午前中、2つずつの項目について討論者を中心とする一般討論が行なわれ、午後それぞれについての詳細な討論が行なわれる方針が決定され、以下の日程表によってセミナーが行なわれた。

- I 緒論 (Introduction)
- II 人口変動、配偶関係および家族 (Population change, conjugal status and family)
- III 人口変動、世帯および住宅開発 (Population change, households and housing development)
- IV 人口変動、食糧供給および栄養 (Population change, food supply and nutrition)
- V 人口変動および健康開発 (Population change and health development)
- VI 人口変動および教育開発 (Population change and educational development)
- VII 人口変動および社会的移動 (Population change and social mobility)

- VII 人口変動および人的資源、労働力、雇用および所得の変動 (Population change and developments in manpower, labour force, employment and income)
- IX 人口変動、社会的従属人口および社会保障 (Population change, social dependency and social security)
- X 人口変動と交通・通信の開発 (Population change and transport and communication development)
- XI 人口動態と社会変動との相互関係 (Interrelation of population dynamics and social change)
- XII 社会開発計画におけるデータと計測の諸問題 (Problems of data and measurement in planning for social development)

最終日に今回のセミナーの報告書が討論され、採択された。

このセミナーにおける討論の特色として次の諸点があげられる。

第1に、人口政策（家族計画運動を含む）の重要性とこれの具体的推進に関する問題が前面に出された。

第2に、人口動態と社会変動との相互関係について、さらに立ち入った調査研究の必要性が強調された。

第3に、国連関係機関が人口変動と社会開発の関係に関する諸問題の解明・解決についてより積極的な役割を果たすべきことが強調された。

（岡崎陽一記）